

国立公園の環境保全活動に関する協力協定

～一般財団法人セブン-イレブン記念財団、環境省～

- 目的: 国立公園における環境保全活動の推進を図り、我が国を代表するに足る傑出した自然の風景地の保護及び生物多様性の確保に向けた取組の促進、並びに保護と利用の好循環による地域社会の持続的な発展に寄与すること

当面の協力活動

本協定に基づき、国立公園において①協働での環境保全活動、②環境市民活動助成、③環境保全活動への参加の呼びかけ等を行う。今後、両者の合意に基づき、適宜協力項目を追加する。

協働の環境保全活動については以下5つの国立公園から開始し、順次拡大をしていく予定。

- ・三陸復興国立公園(みちのく潮風トレイル)※復興支援、2024年6月に開通5周年
沿線の美化清掃やトレイル整備などを協働で実施
- ・日光国立公園(那須地域)※2024年12月に90周年
景観の保全のため、外来種対策や里山管理を協働で実施
- ・富士箱根伊豆国立公園(箱根地域)※2026年2月に90周年
植物の保全のため、防鹿柵の設置・点検を協働で実施
- ・瀬戸内海国立公園(周防大島)※2024年3月に90周年
登山道の維持管理等を協働で実施
- ・霧島錦江湾国立公園(重富干潟)※2024年3月に90周年
干潟の保全・再生を協働で実施



全国のセブン-イレブン店頭でお預かりした募金と(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金をもとに、日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、地域に根差した環境市民団体の活動の支援や、産官学民が連携した地域一体型の森づくりなどを行う。2023年に財団設立から30周年を迎える。



我が国を代表する傑出した自然の風景地を国立公園に指定し、感動と学びを提供するために保護と利用を推進するとともに生物多様性の確保に取り組んでいる。また、保護と利用の好循環による地域社会の持続的な発展を目指している。

2024年に最初の国立公園の指定から90周年を迎える。